

株式会社 **イチケン**

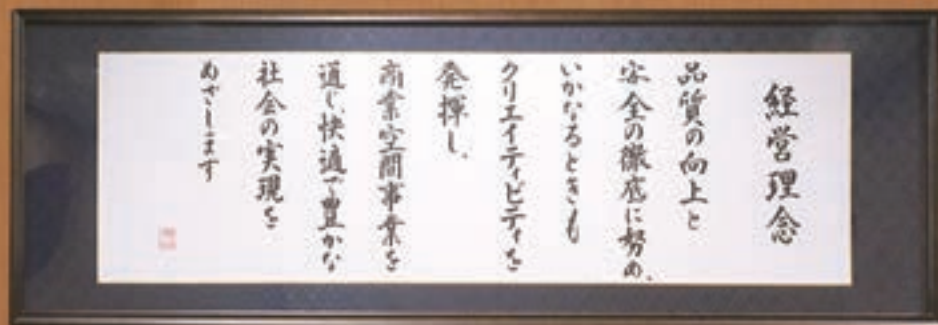
証券コード:1847



 **ICHIKEN**

第92期 中間株主通信

平成29年4月1日～平成29年9月30日



代表取締役社長
長谷川 博之

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第92期中間期における営業のご報告にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

私どもは、『品質の向上と安全の徹底に努め、いかなるときもクリエイティビティを発揮し、商業空間事業を通じ、快適で豊かな社会の実現をめざします』という経営理念のもと、皆様の日々の営みに「より豊かで快適なくらし空間」をご提案させていただくことで、企業価値を高めていきたいと考えております。

建設業界は今、東京オリンピック・パラリンピック関連工事や民間設備投資などの需要に支えられ、引き続き堅調に推移しているものの、建設資材の価格上昇等により、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社は中期経営計画に掲げた目標数値を達成すべく、技術提案力の強化や建設事業における採算性と生産性を重視した取り組みの強化などの重点施策の実現に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当中間期の業績は、当初の予想を上回る結果となりました。

当社を取り巻く経営環境は、依然として予断を許さない状況が続くものと予想されますが、株主の皆様のご期待に応えるべく、社員一同一丸となりさらに努力してまいりますので、株主の皆様には一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

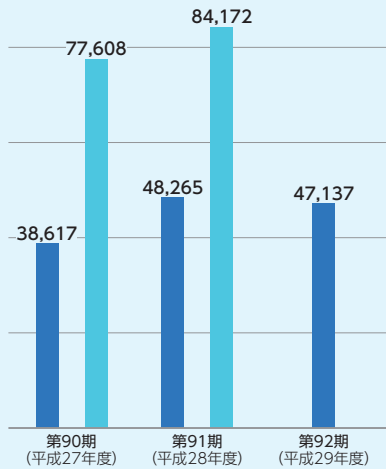
平成29年12月

主な経営指標の推移

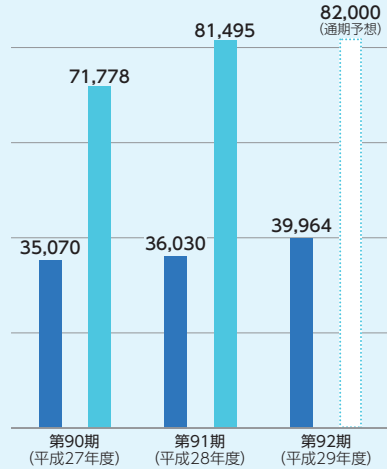
FINANCIAL HIGHLIGHTS

■ 中間期 ■ 通期

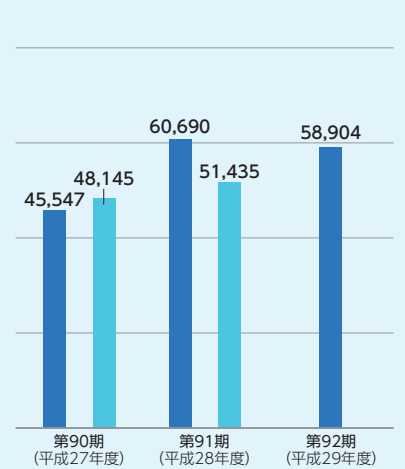
受注高 (単位: 百万円)



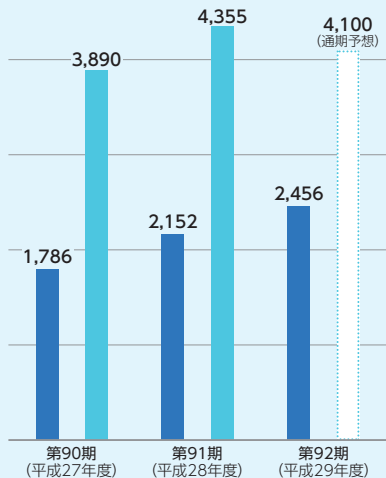
売上高 (単位: 百万円)



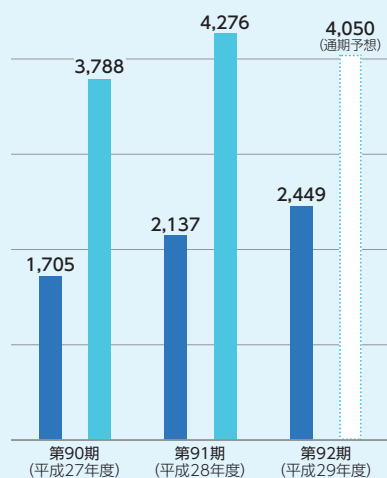
手持工事高 (単位: 百万円)



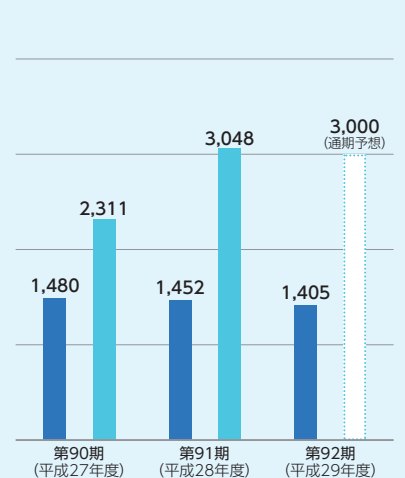
営業利益 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)



商業施設の建築及び内改装工事をはじめ、 ホテル・マンション・教育関連施設・医療介護施設等の建設工事の 受注活動にも幅広く取り組んでまいりました

■ 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、米国の経済政策による影響やアジアにおける地政学リスクの高まり、欧州諸国の政策に関する不確実性など、先行きに不透明感が残るものの、政府の経済政策や日銀の金融緩和策の継続などによる景気の下支えにより、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

建設業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピック関連事業や企業収益の改善を背景に、首都圏を中心とした公共投資や民間設備投資が堅調に推移しているものの、建設資材の価格上昇が鮮明になってきております。また建設業就業者の減少から、処遇改善だけでなく働き方改革による次世代の担い手育成や生産性の向上を目指した取り組みが足元の課題となっており、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は受注拡大のため、従来から培ってきたコア事業である「商業施設」建築のノウハウや企画・提案力を生かし、店舗等の新築・内改装工事のほか訪日観光客の増加に伴うホテルの建設需要に対して積極的な営業活動を行ってまいり

ました。また、マンション建設、教育関連施設の建設、老年人口の増加による医療・介護施設の建設等の需要に対しても幅広い受注活動に取り組んでまいりました。

この結果、当中間期の業績につきましては、売上高は399億6千4百万円(前年同期比10.9%増)となりました。損益につきましては、完成工事高の増加により完成工事総利益が増加したことなどから、営業利益は24億5千6百万円(前年同期比14.1%増)、経常利益は24億4千9百万円(前年同期比14.6%増)となりました。なお、賃貸用不動産の一部について、減損損失3億2千3百万円を特別損失に計上したことから、四半期純利益は14億5百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

■ 通期の見通し

通期の業績につきましては、当中間期の実績を踏まえ、営業利益、経常利益及び当期純利益につき、当初予想を上方修正しました。過去最高益を記録した前期の実績には届かないものの、営業利益は41億円(前期比5.9%減)、経常利益は40億円(前期比5.3%減)、当期純利益は30億円(前期比1.6%減)と予想しております。

■ 株主の皆様へ

当社は、計画的な経営体力の増強と将来対応の事業検討や投資を積極的に実施することにより、中期経営計画に掲げた目標数値を達成すべく、「技術提案力の強化」、「採算性と生産性を重視した取り組みの強化」、「不動産事業の活性化」、「新規事業への取り組み」、「マネジメント力の向上」を重点施策と位置づけ、これらの実現に取り組んでおります。

上記取り組みを計画的に行うことで目標達成への手応えを感じ始めております。その一例として、技術提案力の強化策として平成27年度より着手してお

りますBIMの導入につきまして、平成30年度より実際の設計案件で本格活用できる体制が整いましたことをご報告申し上げます。今後も計画的に重点施策の実現に取り組んでまいります。

また、当社は株主の皆様や投資家の皆様に対するIR活動の一環として、本年6月より決算説明会を開催いたしております。当中間期に係る決算説明会は本年12月に実施する予定であります。

今後も株主の皆様のご期待と信頼に応えられるよう邁進してまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ラシャンスOKAZAKI迎賓館〈ゲストハウス型婚礼施設〉



財務情報(要約)

貸借対照表

(単位:百万円)

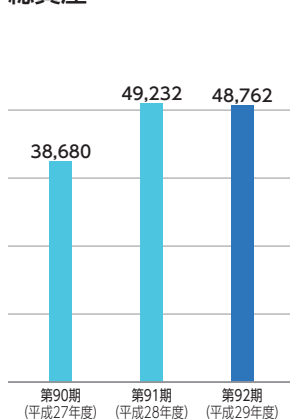
科目	当中間期	前期
	平成29年9月30日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	44,503	44,874
固定資産	4,259	4,358
有形固定資産	1,503	1,786
無形固定資産	194	178
投資その他の資産	2,561	2,393
資産合計 ポイント①	48,762	49,232
負債の部		
流動負債	30,572	31,880
固定負債	3,119	3,485
負債合計 ポイント②	33,692	35,365
純資産の部		
株主資本	14,539	13,461
資本金	4,321	4,321
資本剰余金	206	206
利益剰余金	10,034	8,954
自己株式	△22	△21
評価・換算差額等	492	369
新株予約権	38	35
純資産合計 ポイント③	15,069	13,866
負債純資産合計	48,762	49,232

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

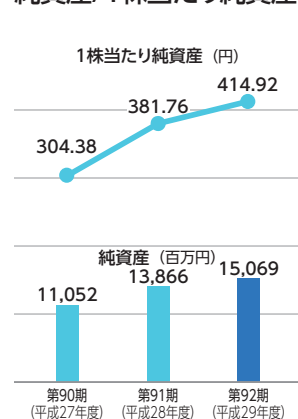
■ 中間期 ■ 通期

総資産

(単位:百万円)



純資産/1株当たり純資産



※ 平成29年10月1日の単元株式数の変更及び株式併合の効力発生日以降は1株当たりの純資産額は5倍となります。

ポイント① 資産合計

資産合計は前期に比べ4億7千万円減少し、487億6千2百万円となりました。主な内容は、現金預金が54億1千2百万円増加した一方、受取手形・完成工事未収入金が37億6百万円減少したことであります。

ポイント② 負債合計

負債合計は前期に比べ16億7千3百万円減少し、336億9千2百万円となりました。主な内容は、支払手形・工事未払金が25億6千2百万円減少したことであります。

ポイント③ 純資産合計

純資産合計は前期に比べ12億3百万円増加し、150億6千9百万円となりました。主な内容は、利益剰余金が前期に係る期末配当により3億2千6百万円減少したものの、当中間期で四半期純利益を14億5百万円獲得したため、10億7千9百万円増加したことであります。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日
売上高	39,964	36,030
売上原価	36,349	32,714
売上総利益	3,614	3,316
販売費及び一般管理費	1,158	1,163
営業利益 ポイント④	2,456	2,152
営業外収益	22	18
営業外費用	28	32
経常利益 ポイント⑤	2,449	2,137
特別損失	323	1
税引前四半期純利益	2,126	2,136
法人税、住民税及び事業税	573	542
法人税等調整額	146	142
四半期純利益 ポイント⑥	1,405	1,452

キャッシュ・フロー計算書

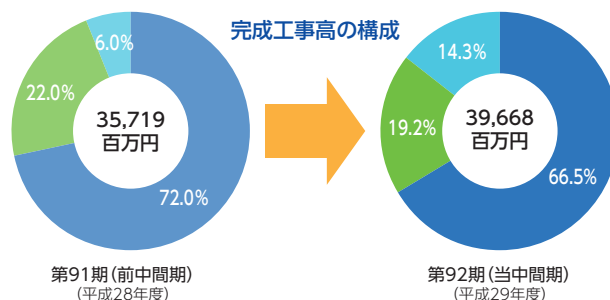
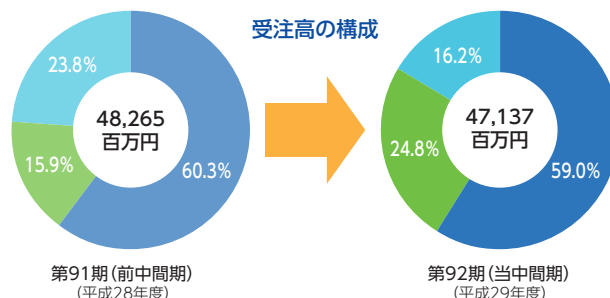
(単位:百万円)

表示区分	当中間期	前中間期
	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,797	3,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329	△339
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	5,412	2,719
現金及び現金同等物の期首残高	9,058	7,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,471	10,569

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

建設事業の概況

■ 商業施設 ■ 住宅 ■ その他

**ポイント④** 営業利益

完成工事高の増加に伴い、営業利益は当初予想を大きく上回り、前年同期比14.1%増の24億5千6百万円となりました。

ポイント⑤ 経常利益

完成工事高の増加に伴う営業利益の増加等により、経常利益も当初予想を大きく上回り、前年同期比14.6%増の24億4千9百万円となりました。

ポイント⑥ 四半期純利益

経常利益は増加したものの、賃貸用不動産の一部について、減損損失3億2千3百万円を特別損失に計上したことから、四半期純利益は、前年同期比3.2%減の14億5百万円となりました。

イチケンが創造する豊かで快適な『暮らし空間』。その一部をご紹介します。



商業施設

Tomorrow PLAZA
(東京都日野市)

竣工 平成29年7月
構造 S造 3階建
延床面積 7,581.70㎡



ホテル

アパホテル
〈浅草 田原町駅前〉
(東京都台東区)

竣工 平成29年8月
構造 S造 14階建
延床面積 7,715.91㎡



マンション

トラストネクサス新棕野Ⅱ
(山口県下関市)

竣工 平成29年5月
構造 RC造 10階建
延床面積 5,679.54㎡



官公庁

海南市新庁舎
(和歌山県海南市)

竣工 平成29年8月
構造 RC造 5階建
延床面積 10,366.87㎡

当社株式が「JPX 日経中小型株指数」構成銘柄に 選定されました。

「JPX 日経中小型株指数」の平成29年度(平成29年8月31日～平成30年8月30日)構成銘柄として当社株式が選定されました。

「JPX 日経中小型株指数」は、東京証券取引所と日本経済新聞社が共同で算出している、持続的な企業価値の向上、投資者を意識した経営を行っている中小型株の銘柄で構成する株価指数です。「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄選定のコンセプトとしており、200銘柄が選定されます。

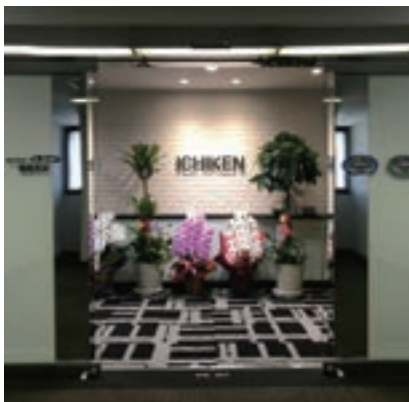
当社の中期経営計画の着実な実施、コーポレートガバナンス・コードに則した取組みなどが高く評価された結果と捉え、投資家の方々の期待に応えるべく、今後も企業価値の向上に努めます。

福岡支店を移転いたしました。

当社は、福岡支店を、平成29年11月6日に以下の住所に移転いたしました。

新事務所への移転を機に、皆様のご期待に添えますよう、一層業務に邁進する所存でございますので、今後とも何卒倍旧のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 新住所 〒810-0041 福岡市中央区大名二丁目4番35号
富士火災福岡ビル
- 電話番号 092-515-1810(代表)



(平成29年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社イチケン
創業	昭和5年6月
資本金	43億2,167万2,065円
営業種目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員数	623名
取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 東日本銀行 他

役員

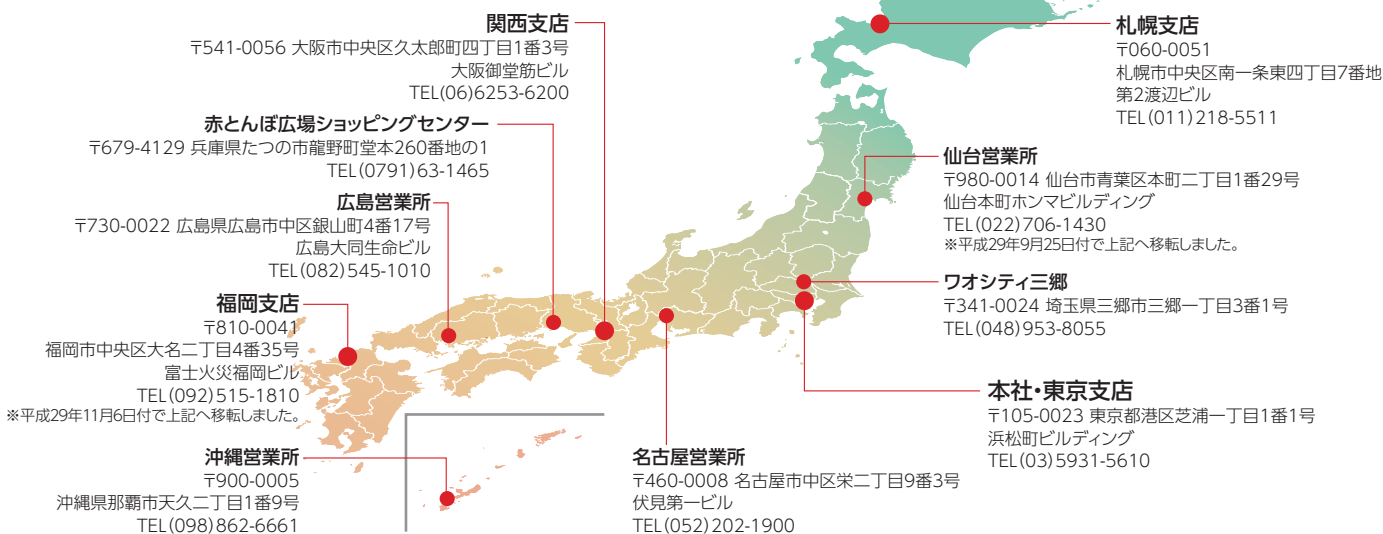
取締役および監査役

代表取締役社長	長谷川 博之	取締役(社外)	伊知地 俊人
取締役	古川 仁一	常勤監査役	渡辺 直之
取締役	吉田 稔	監査役(社外)	西村 正明
取締役	西出 英雄	監査役(社外)	吉識 至孝
取締役(社外)	藤田 進	監査役(社外)	小川 真人
取締役(社外)	武内 秀明		

執行役員

社長執行役員	長谷川 博之	執行役員	野崎 晃
専務執行役員	古川 仁一	執行役員	磯野 慶治
常務執行役員	吉田 稔	執行役員	濱野 明
常務執行役員	西出 英雄	執行役員	奥田 育久
常務執行役員	佐々 英昭	執行役員	田中 実
常務執行役員	湯ノ口 智治		

事業所一覧



(平成29年9月30日現在)

株式の状況

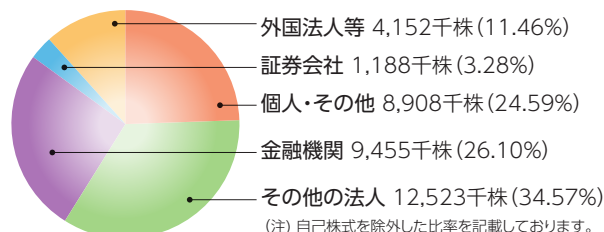
発行可能株式総数	111,200,000株
発行済株式の総数 (自己株式114,349株を含む)	36,342,000株
株主数	3,036名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハン	11,714	32.33
日本ロスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,909	10.79
株式会社 三井住友銀行	996	2.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	770	2.12
日本証券金融株式会社	761	2.10
全国一栄会持株会	742	2.04
株式会社 三菱東京UFJ銀行	592	1.63
株式会社 SBI証券	491	1.35
日本ロスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	379	1.04
日本ロスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	376	1.03

- (注) 1. 持株数上位10名の株主について記載しております。
 2. 持株数は、1,000株未満の株式数を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率は、各株主の持株数(1,000株未満の持株数を含む)の自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パーセントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
 4. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会であります。

所有者別株式分布の状況



株式併合について

当社は、平成29年10月1日をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式併合(5株を1株に併合)を実施いたしました。

● 株主還元の様況

第92期(平成29年度)の業績が当初予想を上回る見込みとなりましたので、1株当たり期末配当予想を50円に増額修正いたしました。

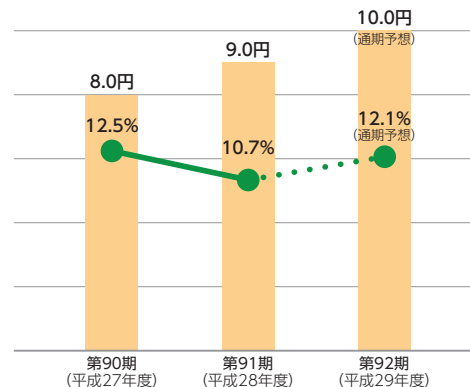
当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化による企業価値の向上と、株主様への直接的な利益還元である配当の安定的な実施に重点を置き、利益配分につきましては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を考慮して決定することを株主還元の基本方針としております。

通期の業績予想につきましては、当中間期までの業績動向を踏まえ、営業利益、経常利益及び当期純利益は、当初予想を上回る見込みとなりました。

これにより、第92期の期末配当予想を1株当たり45円から50円に増額修正いたしました。

(株式併合前の1株当たり換算で9円から10円に増額修正となります)

1株当たり配当金と配当性向の推移



当社ホームページのご案内

<http://www.ichiken.co.jp>

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業案内やIR情報など充実した情報を適時、掲載しています。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	配当金受領株主確定日	毎年3月31日 なお中間配当を実施する場合の株主確定日は毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先 ^(注)	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(通話料無料)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページ) http://www.ichiken.co.jp 但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。	

(注) 株主名簿管理人の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

お知らせ

▶ 株式に関する住所変更等のお申出先について

1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主様
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
2. 特別口座に株式をお持ちの株主様
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶ 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。



株式会社 **イチケン**

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング
電話(03)5931-5610 (9:00~18:00、土・日・祝日・年末年始を除く)

